

# 身近で優しい自然エネルギーを有効活用 「家遊び」を楽しむパッシブデザインの舞台。

## ■家づくりデータ

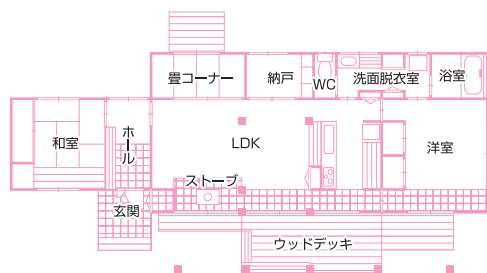
土地面積 / 593.53㎡(179.18坪)  
延床面積 / 113.26㎡(34.19坪)  
用途地域 / 一種中高層住居地域  
設計期間 / 約2年  
建築期間 / 約6か月

## 建築工房 自然木(じねんもく)

●木造軸組在来工法 ●始良市 ●K邸(夫婦+子ども3人)



空間を細かく仕切らずに一体感を持たせたリビングダイニングは、北側の開口からも柔らかな光が入ってくる。片流れの天井は、夏の排熱に有効的だ。ガラリ雨戸も設置しているので、夏の夜は涼しそう



### 施工会社 メッセージ



建築工房 自然木  
代表取締役 村田 義弘さん

◆ご夫婦とは、8年間のおつき合いになります。この間に、住宅の技術も大きく変化してきました。特に、構造と温熱環境に関しての変化は、目を見張るものがあります。自然志向の生活を実践するご夫婦に、その変化をご説明しながら、プランの修正を続けてきました。最近のじねんもくの集大成的な住宅です。

### Family Voice



会う度に新しい情報やアイデアをくれる自然木さん。真摯な姿勢に、私たちのプランづくりも熱を帯びました。こだわり抜いたおかげで、理想の暮らしを叶えられることに。家での時間がますます楽しくなりそうです。

### こんな家が欲しかった 私たちが希望した3つのこと

- 1.家の中と外のつながりを大切に  
庭いじりや畑作業をより楽しむため、室内からも外が広く見えるように窓を配置。中と外を両方生かすウッドデッキも重要ポイントです。
- 2.効率的に動ける生活・家事動線  
廊下を設けず、通路を空間に取り入れました。キッチンや洗面・脱衣室は出入り口が2か所あり、くるくるとスムーズに動けます。
- 3.自然に負荷をかけない優しい生活  
東西に延びるプランを採用することで、自然の通風や採光を確保しました。深い軒の出や、ガラリ雨戸の設置で、出来るだけ空調機を使わない生活を目指します。





畑と雑木の庭に囲まれたK邸。柵もない開放的な庭は、土いじりしていると近所の人から声をかけられることも。開放的な空間づくりで、ウッドデッキや畑が、地域の方々とのコミュニケーションを図る場としても活躍していきそうだ



キッチンの裏、洗面、浴室の隣の洋間は子ども部屋。ご夫婦が高齢になった時に、主寝室として利用する計画。床は、蓄熱性能の高いマツとコンクリート下地タイル貼り



キッチンは両サイドから出入り可能。すぐにウッドデッキへ出られるので、外からの食材の持ち運びに便利。ご主人は料理も趣味ということで、多めに活躍しそうだ

**畑仕事も庭いじりも家族みんなで楽しむ暮らし。**  
 一見すると、平屋づくりの古い木造校舎のようにも見えるK邸の外観。その前には四季折々に表情を変える庭と、家庭菜園とて言いがたい規模の畑が広がっている。生活道路に面している畑は、作業中に近所の方が声をかけてくる。もともと「土にふれながら生活したい」と考えて家づくりに望んできたご主人は、アウトドアに関する趣味も多い。車庫には、シーカヤックが吊るしてあり、薪ストーブ用の薪も積んである。「夫が好きなものを、家族みんなで楽しめる暮らし。それを実現するための空間

**日常生活を豊かで気持ちよくしたい。季節ごとの設えの変化を楽しむ家。**

をつくった、という感じかな」と、奥様が微笑む。  
 家の中と外（庭や畑）とのつながりを大切にしたいとの考えから、深い軒やウッドデッキを設けている。敷地いっぱい、東西に延びる平屋のデザインは、太陽の陽射しや自然の光・風を取り入れるにも都合がいい。身近にある豊かで優しい自然エネルギーを積極的に使いながら、環境に負荷をかけない暮らしを楽しみたいというKさんらしい家が完成した。

自然木とKさん夫妻の出会いは8年ほど前にさかのぼる。奥様が偶然見た記事がきっかけだった。「当時住んでいた家の居心地があまりよくなって。もっと使いやすく、暖かい家がほしいと思ったんです」。共働きだったため、日中は家にいることがほとんど無かったという奥様が、産休・育児で長時間家にいることになって初めて、陽当たりや快適性の大切さが身に染み込もう。  
 あちこちの住宅メーカーを巡って、自然木に決めた理由は、「私たちの家づくりに対する思いにとことん付き合いたい、ライフスタイルまで含めた話ができたこと。素性の



タオルや着替え用の収納をたっぷりとした広めの洗面脱衣室。室内干し用ポールも設置しており、ユーティリティとして使えそう。洗面室奥のトイレは、リビングへの音や視線が気にならない



モットー。また、家庭での消費電力量を現在の2分の1まで減らすパッシブデザインを積極的に取り入れている。気候風土はもろろん、家が建つピンポイントで陽の射し方などを調べて省エネに反映。たくさん我慢をしなくても、楽しくエコライフが送れる家を提案している。

### ムダなスペースを設けず 柔軟に活用できる間取り。

〇邸は、外観同様に間取りもスッキリ。長方形を生かし、玄関からLDKまでがパブリック、そこから奥がプライベートなフロアとして大まかにゾーニングされている。キッチンは対面式だが、両サイドへ抜けられるセンターへ配置。ウッドデッキからも近いので、「畑の収穫物も運びやすいし、外

でさばいた魚を持っていくのにも便利です」。動線も見事で、キッチンから2、3歩進めば洗面・脱衣室へ。そこから子ども部屋にも抜けられるので、来客中でも気兼ねなく洗面や浴室を利用できる。

南面には掃き出し窓を並べ、自然光と風を室内へ。通年の陽当たりを考慮した軒の長さがあるので、夏場の強い日射しはしっかり遮ることができる。リビングから最奥の子ども部屋までをつなげる通路を兼ねた窓際の床には、蓄熱量を確保するためにコンクリート（20センチ）を打ってタイル貼り。子ども部屋の床板も、蓄熱効果が高いとされるマツを採用するなど、冬期への工夫もあちこちに見られる。



南面をつなげるウッドデッキは、深い軒にベンチもあり、気持ちよく過ごせる空間。庇とフレームにヨシズをかけて日除けにしたり、幕を張れば東西の風を室内へ取り入れることもできる



リビングに隣接する3帖の洋間は、子どもたちの勉強部屋に。写真ではまだ設置されていないが、ダイニングテーブルと高さを合わせた勉強机をオーダーし、来客が多いときは組み合わせて使える工夫も



玄関横の和室。北面には住宅もあるため、地窓を使って採光・通風を確保。小さいながらも庭とウッドデッキを造り、目にも楽しいだけでなく、東西を抜ける風の有効利用も狙っている。すべての窓にハニカムサーモスクリーンを使い、断熱効果をアップ

## 建築工房 自然木(じねんもく)

施工会社データ

- 【所在地】鹿児島市永吉2丁目29-3
- 【建設業許可番号】鹿児島県知事許可(般-19)第14664号
- 【取扱業務】注文住宅、リフォーム、店舗、マンション、ウッドデッキ等ガーデンリフォーム、植栽工事、古民家再生
- 【取扱工法】木造軸組在来工法、コンクリート木造軸組混構造、RC造、鉄骨造

●本実例をもっと知りたい方・施工会社へのお問い合わせ先

**TEL099-812-5701**

URL <http://homepage2nifty.com/jinenmoku/> E-mail [jinenmoku@nifty.com](mailto:jinenmoku@nifty.com)

※「かごしま家づくりの本を見た!」とお問い合わせください。